



韓国の舞と響き 全羅北道の舞踊とカヤグムの魅力を披露

駐日韓国文化院では、韓国伝統舞踊の美しさと伽倻琴（カヤグム）弾き語りおよび伽倻琴散調の魅力を一度に鑑賞できる公演を開催するします。

今回の舞台では、新舞踊の開拓者チョ・テグオンの代表作『身老心不老（しんろうしんぷろう）』を全羅北道 無形遺産「全羅三絃僧舞」保持者である文正根（ムン・ジョングン）が披露します。

『身老心不老』は1956年に日本で公演映像が発見された作品で、人生の虚しさを踊りで表現したものです。

また、繊細で品格があり、興と恨が調和する全羅北道地域の伝統舞踊の特徴をよく表した「全羅教坊剣舞」および「全羅女舞手巾舞」も披露します。

さらに、パンソリ『春香歌』の一節で、李夢龍が春香への恋に心を奪われ、勉学に身が入らない心情を表現した「千字文を読んでも、春香のことばかりが思い浮かぶ」など、琴に似た韓国伝統楽器カヤグムの魅力に触れることのできる弾き語りの舞台もお楽しみいただけます。

つきましては、本イベントの周知にご協力をお願いします。写真資料、出演者の詳しいプロフィールなどのご依頼、ご取材のお申込については、韓国文化院までご連絡ください。

★マスコミの方々でご観賞をご希望の方にはお席をご用意いたしますので、
メール 《 pr@koreanculture.jp 》までご一報ください。



【イベント概要】

- 行事名：韓国の舞と響き
- 日時：2026年6月9日（火）19:00 開演（18:30 開場）
- 会場：駐日韓国文化院 2F ハンマダンホール（東京都新宿区四谷 4-4-10）
- アクセス：東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目駅」1番出口より徒歩5分
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院、(株)公演文化芸術「春」、(株)WIZL
- ★本イベントは事前申込制（無料招待）です。（申込受付は終了）

【お問合せ】 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp

イベント担当 朴志勲（パク・ジフン） ☎03-3357-5975 ✉ stage@koreanculture.jp

広報担当 趙恩京（ジョ・ウンギョン） ☎03-3357-5972 ✉ pr@koreanculture.jp

【出演】



文正根 / ムン・ジョングン

全羅北道 無形遺産 全羅三絃僧舞 保持者
元全羅北道立国楽院 舞踊団長
全州市 文化賞
全羅北道 知事賞



李受炫 / イ・スヒョン

朝鮮楽広大 代表
全羅南道 無形遺産 右道農楽 履修者
全羅北道 無形遺産 全羅三絃僧舞 履修者



金那妍 / キム・ナヨン

南原市立舞踊団 常任団員
全羅北道 無形遺産 全羅三絃僧舞 履修者
国家無形遺産 晋州劍舞 履修者



文志允 / ムン・ジユン

国立民俗国楽院 舞踊団員
韓国芸術総合学校 舞踊院 卒業
全羅北道 無形遺産 全羅三絃僧舞 履修者



金珉貞 / キム・ミンジョン

漢陽大学 音楽大学 国楽科 兼任教授、漢陽大学 国楽科 伽倻琴専攻 卒業
同大学院 修了、同大学院 伽倻琴弾き語り 博士
国家無形遺産 伽倻琴散調および弾き語り 履修者
第 12 回 ソウル伝統公演芸術コンクール 大統領賞 受賞



李恩熹 / イ・ウンヒ

漢陽大学 音楽大学 国楽科 兼任教授
韓国芸術総合学校 韓国芸術英才教育院 本院 講師
国家無形遺産 伽倻琴散調および弾き語り 履修者
第 20 回 大韓民国伽倻琴弾き語り大祭典 名人部 大賞 (国会議長賞)

【プログラム】

伽倻琴弾き語り「民謡連曲」 / カヤグム：キム・ミンジョン、イ・ウンヒ、チャンゴ：イ・スヒョン

伽倻琴弾き語りには歌い手の澄んだ美しい声と伽倻琴の響きがよく調和するのが特徴。愛する人を想う気持ちを込めた『相思千里夢』と『恋しき人を思う懐抱』、そして花が咲くような躍動感と喜びを表現した『花打令』の3曲を披露する。



民俗舞踊 全羅教坊剣舞 / キム・ナヨン、ムン・ジユン

教坊舞とは宮廷や官庁の宴会・儀式で音楽や舞踊を担当した女性芸人を教育する機関で伝承・発展した韓国伝統舞踊の一種。全州地域の伝統的な教坊舞を基にした「全羅剣舞」は、失われつつあった剣舞の流れを再現した作品。剣の理と手技の原理を基盤として、伝統の美と気品を現代的に表現している。

創作舞踊 身老心不老 / ムン・ジョングン

一人の老人が、今もなお心の若さを感じながら、人生の儚さと内面の情緒を舞踊で表現した作品。新舞踊の先駆者であるチョ・テグォンの代表作であり、1956年の公演映像が日本で発見された。その後、チョ・フンドンによって復元され、ムン・ジョングンによって継承されながら舞台上で上演され続けている。



伽倻琴散調 / カヤグム：キム・ミンジョン、チャンゴ：イ・スヒョン

「散らばった旋律」あるいは「無言のパンソリ」とも呼ばれる散調は、弦を揺らす音を用い、韓民族の喜怒哀楽を精緻で美しい拍子と旋律によって表現する民族器楽。ソン・グムヨン流伽倻琴散調は、ゆるやかに始まり次第に速くなるリズムと、軽快で華やかでありながら深い味わいを持つ旋律が特徴。



民俗舞踊 教坊女舞手巾舞 / キム・ナヨン

全州地域の教坊の舞踊伝統を再現して創作された作品で、剣舞本来の精神と美を再現している。

民俗舞踊 巫歌 / ムン・ジユン

「巫」は、神意を伝え、人間の願いを代わりに祈っていた巫女の姿を主題とした作品である。神がかりの所作を舞踊として表現し、そこに土俗的な拍子と民謡形式のチャンブ打令（タリヨン）が調和することで、独特の興趣と緊張感を生み出している。拍子が次第に高揚し、舞の情熱が頂点に達する構成となっている。



伽倻琴弾き語り「千字文を読んでも、春香のことばかりが思い浮かぶ」 / イ・ウンヒ

<作曲-ホン・ジョンヒョン、作詞-イ・ウンヒ>

パンソリ『春香歌』の一節で、李夢龍が春香への恋に心を奪われ、文字を読もうとしても内容が頭に入らず、春香のことばかりが思い浮かぶ様子を伽倻琴弾き語りで歌い上げる作品である。



右道花チャンゴ、イ・スヒョン流小鼓舞 / チャンゴ：イ・スヒョン、小鼓：キム・ナヨン、ムン・ジユン

全南無形遺産「右道農楽 キム・ドンオン流・ソルチャング」の繊細な舞の所作を基に構成された作品である。拍子の味わいと足運びの美しさを生かしてリズムカルに再解釈しており、正確な打法と呼吸の中に、軽快でありながら多彩なエネルギーを内包している。伝統の趣と現代的な活力が調和した舞台である。



イ・スヒョン流小鼓舞

故ファン・ジェギ名人のコツカル小鼓舞と右道農楽の個人遊びをモチーフに創作された作品である。複合的な拍子構造の中で、陰陽の調和および「起・景・結・解」の原理を表現している。農楽と伝統舞踊の境界を行き来しながら、リズムと身体表現の自由な美を示している。

